

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	14-9
PDCA	主要事業名		墓地施設快適化推進事業		部課名	市民経済部環境課	担当 内線	高橋 21-4001
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 3 単位施策： 生活環境						予算見積書で活用	
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 5,569 千円							
	会計		一般会計		歳出科目： 04.01.03.20.50			
	事業概要等	事業概要： 「墓地は迷惑施設である」というイメージを払拭し、利用者が安全、快適に利用でき、かつ故人をしのぶ場所としてふさわしい場所となるよう、各種設備の整備や修繕を行う。						
		事業目的： 迷惑施設のイメージを払拭し、故人をしのぶ場所としてふさわしい墓地施設等を整備することにより、市民が安心して集える墓地空間を創出する。						
		事業内容： 墓参者が安心、快適に墓地を利用することができるように、施設の整備を実施する。令和4年度は、黒石墓地の法面改修と北部墓地のごみ集積所の整備を行う。						
		問題点・課題等： 近年のライフスタイルの変化や少子高齢化などによる無縁化や墓じまいの増加、高齢者や障がい者の利用などに配慮した整備を行う必要がある。						
	予算額	主要事業とする理由						
	5,569 千円	令和2年度に策定した「半田市墓地管理計画」により、今後の市営墓地の整備及び維持管理の基本方針が決定した。また、計画では管理料を徴収する方向性も示されており、墓地施設の更なる利便性の向上と安全性の確保を図る必要があるため。						
	財源内訳							
市費	得られる成果							
5,569 千円	雑草の繁茂抑制及びごみ集積所の環境整備により、墓参時の快適性が向上する。							
国費	目標値や目指すべき状態							
0 千円								
県費	早期（お盆まで）に工事を完了する。							
0 千円								
その他								
0 千円								
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果					主要施策の成果報告書で活用	
	5,564 千円	駐車場法面の改修工事による雑草の繁茂抑制と、ごみ集積ボックスの設置による環境整備により、墓参者が快適にお墓参りができるようになった。						
		成果指標						
		早期（お盆まで）に工事を完了する。						
C 課題の整理	事業の評価・課題	B						
		黒石墓地においては、駐車場法面のモルタル吹付による改修を行ったことで、雑草の繁茂抑制及び地元老人会による急斜面での危険な除草作業を廃止することができ、維持管理費の削減にもつながった。工事期間中における駐車場の確保や、安全対策を適切に行うことで、墓参者への影響を最小限にし、多くの墓参者が訪れるお盆までに工事を完了することができた。北部墓地においては、ごみ集積ボックスの設置により墓参環境の向上を図ることができた。令和6年度からの墓地管理料徴収に伴い、墓地使用者に対して理解を得られる施設整備を行っていくことが、今後の課題である。						
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進						
		今後の墓地施設の整備については、令和2年度に策定した「半田市墓地管理計画」に基づき、近年のライフスタイルの変化や少子高齢化等による無縁化や墓じまいの増加、高齢者や障がい者の利用などに配慮し、6つの市営墓地の特性に応じた整備を行っていく。						
	観点別評価			有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減		ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地		※対象・手段の変更
③休廃止の影響		大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある		

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）